

3 評価者養成講習等実績

都内に多数存在する事業所ができる限り多く第三者評価を受審できるよう、評価者養成講習を実施するとともに、現任の評価者にはフォローアップ研修を実施した。

① 評価者養成講習実績数

(単位:人)

平成	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
名簿 登載者	213	629	400	167	177	208	198	166	165	131	119	117	76	87	88	85	97

令和	元年度	2年度	3年度	4年度	登載者 累計
名簿 登載者	107	128	126	98	3,582

② フォローアップ研修実績数

(単位:人)

	修了者数
フォローアップ研修(共通コース)	1,371

	受講決定者数	修了者数
フォローアップ研修(専門コース)	614	540
組織マネジメントの基礎	40	34
コミュニケーションスキルの習得	51	30
福祉サービスの現状を学ぶ～児童分野～	210	201
利用者調査の手法を学ぶ～高齢分野～	40	33
利用者調査の手法を学ぶ～障害分野～	48	41
福祉サービスの共通評価項目を学ぶ～保育分野～	54	51
福祉サービスの共通評価項目を学ぶ～障害分野～	59	53
評価の視点の導き出し方を学ぶ<<保育事例>>	23	19
評価の視点の導き出し方を学ぶ<<高齢事例>>	20	17
評価の視点の導き出し方を学ぶ<<障害事例>>	24	21
福祉サービスの共通評価項目の理解を深める～高齢分野～	45	40

③ 評価機関支援研修実績数

(単位:人)

評価機関支援研修【評価機関に求められるコンプライアンス】	受講決定 修了機関 機関数 数	
	61	61

<参考> 評価者の要件内訳

(単位:人)

要件	要件該当 評価者延数
福祉・医療・保健業務を3年以上経験している者	1,029
組織運営管理等業務を3年以上経験している者	161
調査関係機関等で調査業務や経営相談を3年以上経験している者	188
福祉・医療・保健・経営分野の学識経験者で当該業務を3年以上経験している者	19
その他、上記と同等の能力を有していると機構が認める者	59

注1: 令和5年3月31日現在の評価者名簿掲載者の状況である。

注2: 複数の要件に該当する評価者は、それぞれの要件でカウントしている。

④ 社会的養護関係施設評価者研修実績数

(単位:人)

社会的養護関係施設評価者養成研修	受講決定者数 修了者数	
	46	45
社会的養護関係施設評価者継続研修	24	23

⑤ 保護・婦人保護施設に関する研修

(単位:人)

保護施設に関する法制度と現状を学ぶ	受講決定者数 修了者数	
	32	27

⑥研修カリキュラム

I 評価者養成講習

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
9:30	開講・オリエンテーション 9:30～9:50(20分)	オリエンテーション 9:30～9:35(5分)	オリエンテーション 9:30～9:35(5分)	オリエンテーション 9:30～9:35(5分)	オリエンテーション 9:30～9:35(5分)	オリエンテーション 9:30～9:35(5分)
10:00	(1)福祉サービスの基本的理解 9:50～11:30(100分) 途中休憩あり	(6)利用者調査 9:35～10:55(80分) ○利用者調査ガイドライン ○聞き取り方式、アンケート方式 ○場面観察方式	(8)評価チームの決定とスケジューリング～事業者による自己評価【STEP1～4】 9:35～9:55(20分) ○STEP1～4の解説	(13)訪問調査後：評点付の留意点 9:35～10:30(55分) ○自己紹介 ○訪問調査の復習 ○3日目宿題(10)事前分析ワークシート2(評価結果)を使用した標準項目評点付けの解答・解説	(17)カテゴリコメントの方針決定・発表②：カテゴリ7 9:35～10:05(30分) ○4日目宿題の解答・解説	(20)全体の評価講評の作成② 9:35～11:45(130分) ○前回までの振り返り(20分)
10:30	○福祉サービスの変遷 ○第三者評価が必要になった経緯	○標準項目の確認方法(非該当について含む) ○訪問調査時の確認項目の整理 ○演習：標準項目の確認(個人ワーク)	(9)事前分析【STEP6】 9:55～10:55(60分) ○ステップの解説 ○標準項目の確認方法(非該当について含む) ○訪問調査時の確認項目の整理 ○演習：標準項目の確認(個人ワーク)	(14)コミュニケーションと合議【STEP8】 10:30～10:45(15分) ○評価者に求められるコミュニケーションスキル ○多面的なものの見方	(17)カテゴリコメントの方針決定・発表② 10:05～11:25(80分) ○演習 グループワーク⇒事務局へ提出 ※PC操作あり	○全体講評の作成(グループワーク) ⇒事務局へ提出
11:00		休憩(10分)	休憩(10分)	休憩(10分)		
11:30		(7)共通評価項目の理解① 11:05～11:55(50分) ○事業評価とは(事業プロフィール、組織マネジメント分析シート、サービス項目シートについて) ○共通評価項目の意義、構成について(復習) ○カテゴリの概要、カテゴリの関連について ○評価結果報告書の全体像、コメントの書き分けについて	(10)事業プロフィールについて 11:05～11:55(50分) ○太陽苑の事業プロフィールを理解する	(15)訪問調査後：太陽苑の印象 10:55～11:55(60分) ○太陽苑の印象②(個人・グループワーク：訪問後の印象)		
12:00	休憩(60分)				休憩(60分)	休憩(60分)
12:30	(2)第三者評価の概要 12:30～14:20(110分) 途中休憩あり	休憩(60分)	休憩(60分)	休憩(60分)		(21)全体の評価講評の発表 12:45～15:40(175分) 途中休憩あり ○事業所へのフィードバックの仕方 ○発表 ○講師コメント ○振り返り
13:00	○第三者評価とは ○第三者評価制度の目的 ○都の第三者評価のしくみと特徴 ○評価手法の概要(事業評価・利用者調査) ○1件の評価の流れ ○評価情報の公表 ○報告書のイメージをつかむ	(7)共通評価項目の理解② 12:55～16:45(230分) 途中休憩あり(2～3回) ○全カテゴリの解説 ・組織マネジメント項目 ・サービス項目 ・サブカテゴリの関連 ○評価をするうえで各カテゴリにおけるポイント ○演習：カテゴリの関連を考える	(11)評価の視点 12:55～15:20(145分) 途中休憩あり ○演習：太陽苑の印象①(個人ワーク・グループワーク)(30分) ○発表、解説 ○講義1：評価の視点とは？(55分) ・評価の視点の意義、重要性 ・評価の視点の立て方(演繹法、帰納法) ・評価の視点の効果(評価の視点がある評価)	(16)カテゴリコメントの方針決定・発表① 12:55～15:50(175分) 途中休憩あり ○講義：カテゴリコメントの作成について(25分) ・カテゴリコメントの解説 ・カテゴリ1の例 ・カテゴリ1,5,6-3(事例解説)等 途中休憩あり ○演習：カテゴリ1 講評の方向性ワーク(135分) (解説→個人ワーク→グループワーク→発表) ①個人ワーク(25分) ②グループワーク(40分) ③発表(55分) ・準備5分 ・「発表(3分)+講師コメント(3分)」×7G=42分 ・予備8分 ○宿題説明(15分)	○発表 ○演習 グループワーク⇒事務局へ提出 ※PC操作あり	
13:30	※評価対象サービスについて学ぶ				休憩(10分)	
14:00					(19)全体の評価講評の作成① 13:30～16:45(195分) ○全体の評価講評を解説 ○特に力を入れた取り組み、カテゴリコメント、カテゴリ7の講評との違いについて ○太陽苑の印象③(個人ワーク・グループワーク：良い点・改善点各3つ項目整理)	
14:30	(3)評価の現状・評価者の役割 14:20～14:50(30分) ○東京都の評価の現状 ○評価者名簿登載等		○講義2：太陽苑における評価の視点の統一(50分)			
15:00	休憩(15分)				※全体講評の作成(個人ワーク)は宿題	
15:30	(4)よりよい評価を目指して 15:05～16:45(100分) 途中休憩あり ○評価とは何か(再確認) ○共通評価項目の意味 ○共通評価項目を踏まえた評価の視点の考え方 ○事業運営のPDCAサイクル ○事業評価と利用者調査 ○利用者調査(評価者の姿勢) ・利用者調査の難しさ ・利用者調査結果の活用 ○第三者評価受審事業所の改善例等		休憩(10分)			(22)養成講習のまとめ 15:40～15:50(30分) ○第三者評価制度の総括
16:00			(12)訪問調査～機構への報告【STEP7～11】 15:30～16:45(75分) ○STEP7～11の解説(60分) ※各ステップのプロセスやルールを中心に ○宿題用の資料9～16に関する説明 資料配付時に読み込む際のポイント(15分)			休憩(25分)
16:30				(16)カテゴリコメントの方針決定・発表①：カテゴリ7 16:00～16:40(40分) ○カテゴリ7及びPDCAについて(復習) ○事業所記入シートについての解説		(23)修了試験 16:15～16:50(35分) 16:15～16:20 試験説明 16:20～16:50 試験
17:00	(5)養成講習ガイダンス 16:45～17:00(15分) ○6日間の研修の流れ及び注意事項等	本日のまとめ(10分) 事務連絡(5分)	本日のまとめ(10分) 事務連絡(5分)	本日のまとめ(10分) 事務連絡及び宿題説明(10分)	本日のまとめ(5分) 事務連絡(10分)	事務連絡・閉講(10分)

Ⅱ フォローアップ研修

○評価者フォローアップ研修（共通コース）

- ・実施日：令和4年4月1日～令和4年4月30日
- ・対象者：(1) 全評価者（令和4年4月1日付で評価者名簿から抹消となった場合を除く。）
(2) 評価機関の事務局で第三者評価を担当する責任者等
- ・実施方法：eラーニング

○評価者フォローアップ研修（専門コース）

【福祉サービスの共通評価項目の理解を深める～高齢分野～】

- ・実施日：令和4年6月14日、6月15日
 - ・対象者：受講を希望する評価者
 - ・実施方法：講義及び演習 2日間
 - ・講師：株式会社ウエルビー 代表取締役
株式会社ウエルビー
- 青木 正人 氏
亀井 恵美子氏

【福祉サービスの共通評価項目を学ぶ～障害分野～】

- ・実施日：令和4年6月29日、6月30日
 - ・対象者：受講を希望する評価者
 - ・実施方法：講義及び演習 2日間
 - ・講師：一般社団法人R i c c o l a b . 代表理事
一般社団法人R i c c o l a b .
- 渡辺 真紀 氏
浅野 徹 氏

【福祉サービスの共通評価項目を学ぶ～保育分野～】

- ・実施日：令和4年7月13日、7月14日
 - ・対象者：受講を希望する評価者
 - ・実施方法：講義及び演習 2日間
 - ・講師：パブリックサービスR&C合同会社 代表社員
パブリックサービスR&C合同会社
- 臼井 淳 氏
狩野 節子 氏

【利用者調査の手法を学ぶ ～障害分野～】

- ・実施日：令和4年7月26日、7月27日
 - ・対象者：受講を希望する評価者
 - ・実施方法：講義及び演習 2日間
 - ・講師：立教大学 コミュニティ福祉学部 福祉学科 教授
社会福祉法人みずき福祉会 理事長
株式会社フォーサイトコンサルティング 代表取締役社長
やまだこどもクリニック 言語聴覚士
- 飯村 史恵 氏
阿部 美樹雄氏
浅野 睦 氏
高泉 喜昭 氏

【利用者調査の手法を学ぶ ～高齢分野～】

- ・ 実施日：令和4年8月9日、8月10日
- ・ 対象者：受講を希望する評価者
- ・ 実施方法：講義及び演習 2日間
- ・ 講師：日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉援助学科 教授 下垣 光 氏
社会福祉法人正吉福祉会 きたざわ苑 施設長 齊藤 貴也 氏
一般社団法人Riccolab. 代表理事 渡辺 真紀 氏
特定非営利活動法人ミニケアホームきみさんち 理事長 林田 俊弘 氏

【組織マネジメントの基礎】

- ・ 実施日：令和4年10月18日、10月19日
- ・ 対象者：受講を希望する評価者
- ・ 実施方法：講義及び演習 2日間
- ・ 講師：ヒューマンウェア・コンサルティング株式会社 取締役副社長 渡辺 充彦 氏

【コミュニケーションスキルの習得】

- ・ 実施日：令和4年10月21日、10月28日
- ・ 対象者：受講を希望する評価者
- ・ 実施方法：講義及び演習 2日間
- ・ 講師：株式会社フォーサイトコンサルティング 代表取締役社長 浅野 睦 氏
学校法人東京YMCA学院 東京YMCA医療福祉専門学校 講師 佐々木 幸 氏

【福祉サービスの現状を学ぶ～児童分野～】

- ・ 実施日：令和4年10月24日～11月24日
- ・ 対象者：受講を希望する評価者
- ・ 実施方法：eラーニング
- ・ 講師：日本女子大学 家政学部 児童学科 准教授 和田上 貴昭氏
学校法人宮村学園 認定こども園日野・多摩平幼稚園 園長 福田 大海 氏
株式会社マグハウス 代表取締役 久保田 桂子氏
東京都福祉保健局 江東児童相談所 児童福祉相談専門課長 高橋 章友 氏
東京都福祉保健局 少子社会対策部 認証・認可外保育施設担当課長 吉井 英司 氏
社会福祉法人子供の家 児童養護施設子供の家 施設長 早川 悟司 氏
社会福祉法人みんなのおうち 小梅保育園 園長 西村 孝幸 氏
株式会社ニチイ学館 基幹事業統括本部 保育事業本部 保育管理部 スーパーバイザー 大兼 美佐子氏

【評価の視点の導き出し方を学ぶ《高齢事例》】

- ・ 実施日：令和4年11月10日、11月11日
- ・ 対象者：受講を希望する評価者
- ・ 実施方法：講義及び演習 2日間
- ・ 講師：株式会社フォーサイトコンサルティング 代表取締役社長 浅野 睦 氏
株式会社ウエルビー 代表取締役 青木 正人 氏

【評価の視点の導き出し方を学ぶ《障害事例》】

- ・ 実施日：令和4年12月12日、12月13日
- ・ 対象者：受講を希望する評価者
- ・ 実施方法：講義及び演習 2日間
- ・ 講師：株式会社フォーサイトコンサルティング 代表取締役社長 浅野 睦 氏
株式会社地域計画連合 取締役 姫野 亜紀 氏

【評価の視点の導き出し方を学ぶ《保育事例》】

- ・ 実施日：令和4年12月14日、12月15日
- ・ 対象者：受講を希望する評価者
- ・ 実施方法：講義及び演習 2日間
- ・ 講師：株式会社フォーサイトコンサルティング 代表取締役社長 浅野 睦 氏
有限会社アーチ・ラボラトリーズ 代表取締役 吉田 紅愛 氏

Ⅲ 評価機関支援研修

○評価機関支援研修【評価機関に求められるコンプライアンス】

- ・ 実施日：令和4年8月8日～9月2日
- ・ 対象者：評価機関代表者、評価者育成責任者、評価手法管理責任者又は事務局職員等
- ・ 実施方法：eラーニング
- ・ 講師：社会福祉法人全国社会福祉協議会 竹口 愛子 氏
多久島岩崎法律事務所 弁護士 岩崎 雄大 氏

IV 社会的養護関係施設評価者養成研修

【社会的養護関係施設評価者養成研修】

- ・ 実施日：令和4年5月31日
- ・ 対象者：(1) 令和4年度東京都社会的養護関係施設第三者評価機関としての認証申請を予定している評価機関に主たるとして所属する評価者
(2) その他受講を希望する評価者
- ・ 実施方法：講義 1日
- ・ 講師：一般社団法人全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会 理事 岡田 賢宏 氏
社会福祉法人至誠学舎立川 児童事業本部 事務局長 高橋 誠一郎氏

【社会的養護関係施設評価者継続研修】

- ・ 実施日：令和4年5月27日
- ・ 対象者：(1) 令和4年4月1日現在、社会的養護関係施設評価者であること
(2) 令和2年度・令和3年度の2年間に、東京都における社会的養護関係施設の評価実績が1件以上ある評価者
- ・ 実施方法：講義 1日
- ・ 講師：社会福祉法人ベタニヤホーム 母子生活支援施設ベタニヤホーム 施設長 伊丹 桂 氏
社会福祉法人至誠学舎立川 児童事業本部 事務局長 高橋 誠一郎氏
社会福祉法人青少年福祉センター 自立援助ホーム清周寮 寮長 松本 耕造 氏
一般社団法人全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会 理事 岡田 賢宏 氏

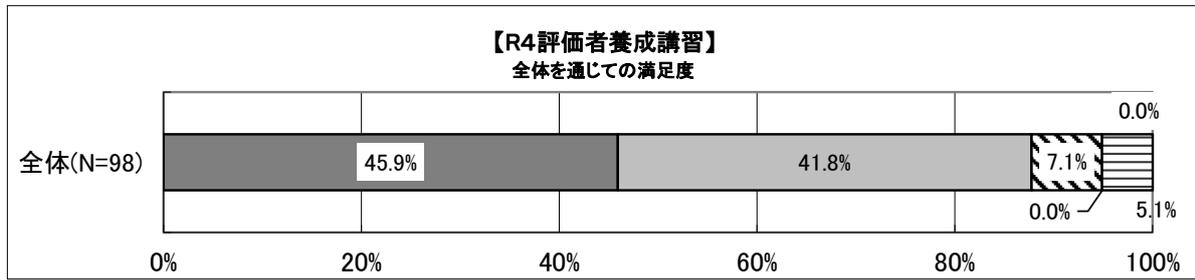
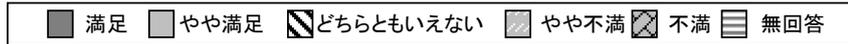
V 保護・婦人保護施設に関する研修

【保護施設に関する法制度と現状を学ぶ】

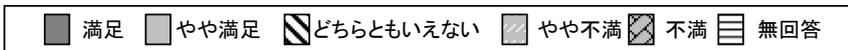
- ・ 実施日：令和4年12月16日～令和5年1月20日
- ・ 対象者：受講を希望する評価者
- ・ 実施方法：eラーニング
- ・ 講師：東洋大学 社会学部 社会福祉学科 講師 川原 恵子 氏
東京都福祉保健局 生活福祉部 保護課 課長代理 小島 敏子 氏
社会福祉法人救世軍社会事業団 救世軍自省館 副施設長 高橋 正隆 氏
社会福祉法人特別区社会福祉事業団 塩崎荘 施設長 山田 明彦 氏
社会福祉法人新栄会 宿所提供施設南千住荘 施設長 八木 武寛 氏

⑦ 研修受講生アンケート

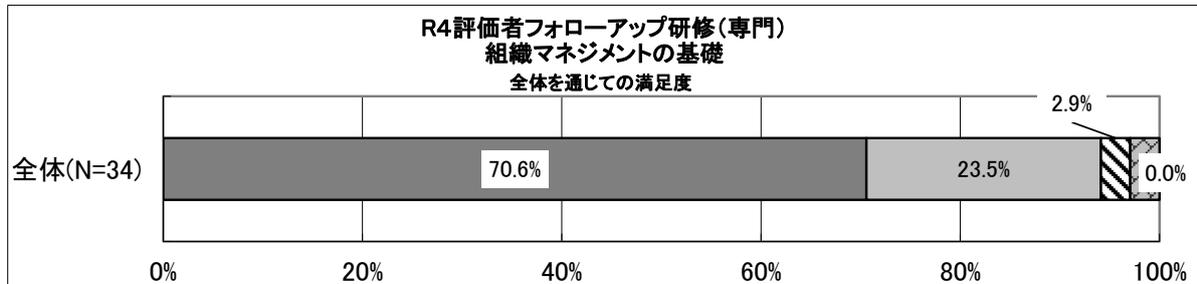
I 評価者養成講習



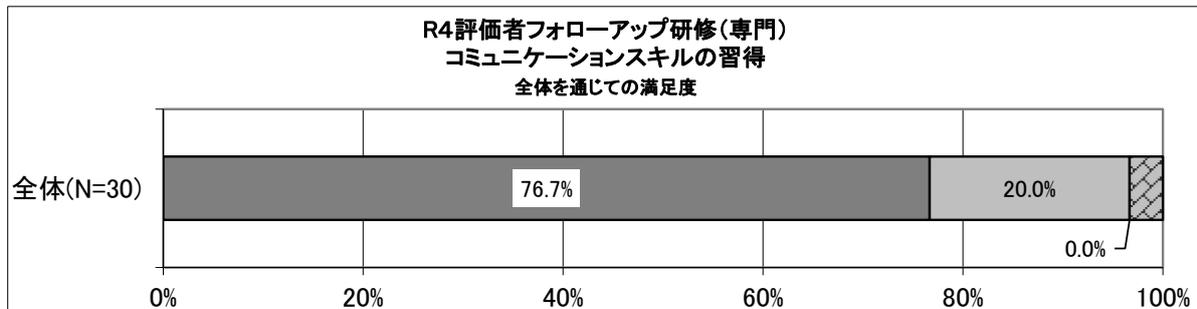
II 評価者フォローアップ研修(専門コース)



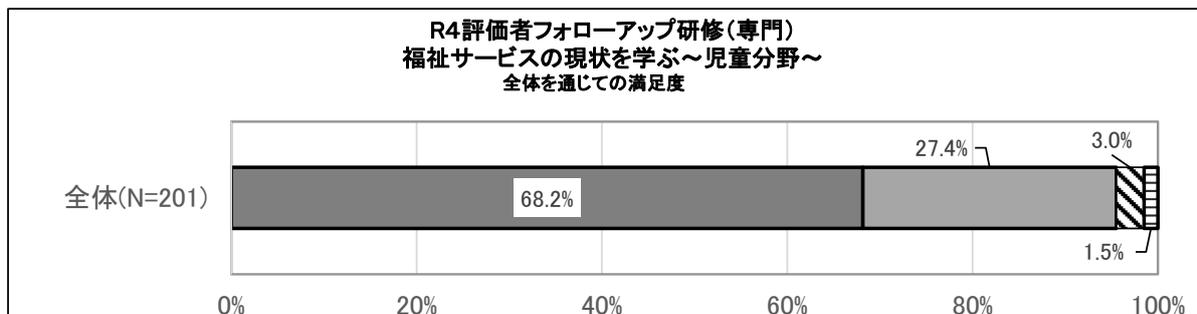
組織マネジメントの基礎

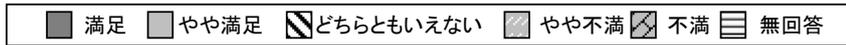


コミュニケーションスキルの習得

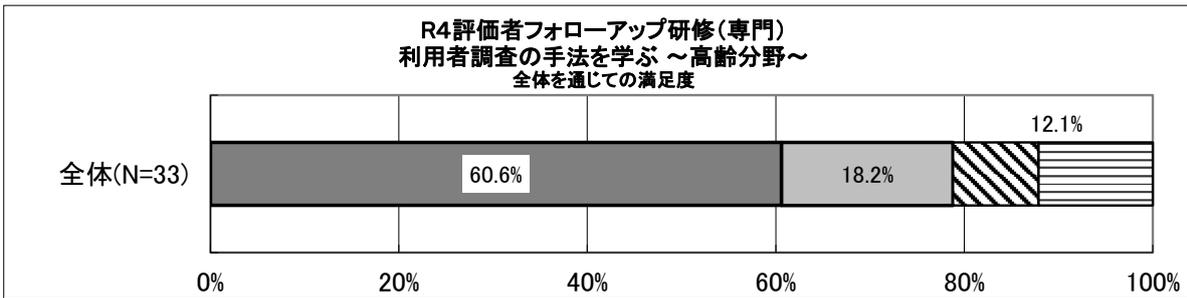


福祉サービスの現状を学ぶ～児童分野～

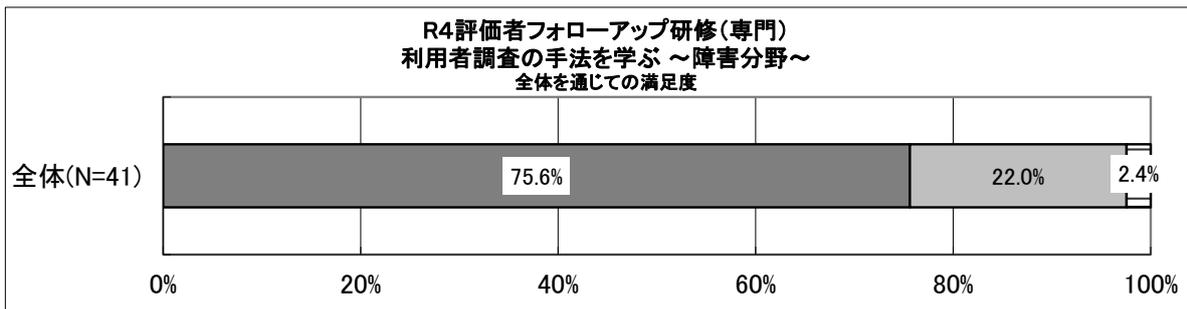




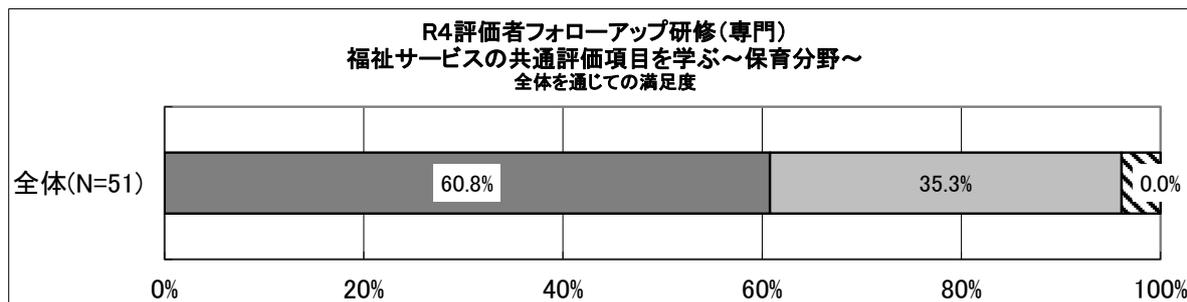
利用者調査の手法を学ぶ ～高齢分野～



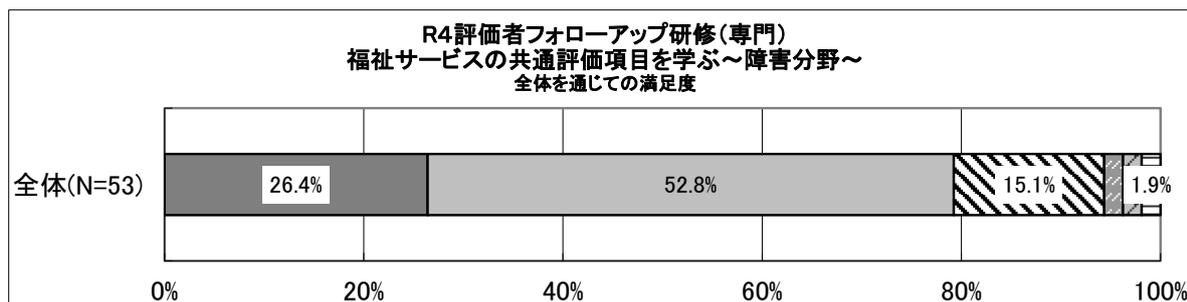
利用者調査の手法を学ぶ ～障害分野～



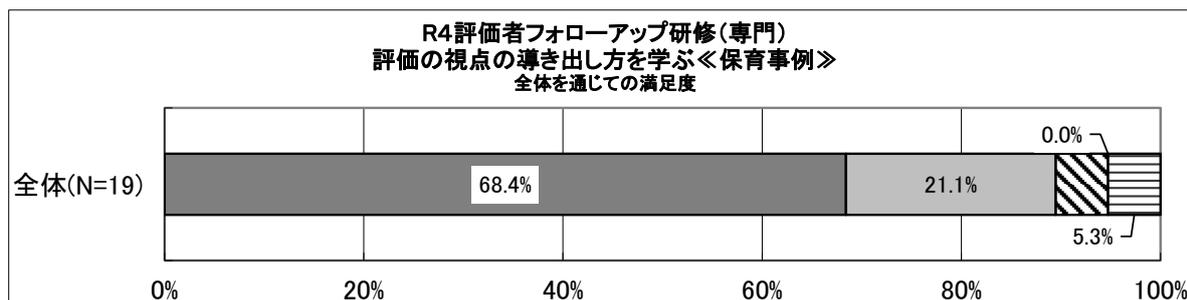
福祉サービスの共通評価項目を学ぶ～保育分野～

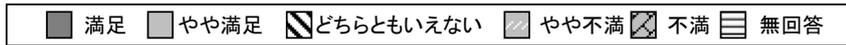


福祉サービスの共通評価項目を学ぶ～障害分野～

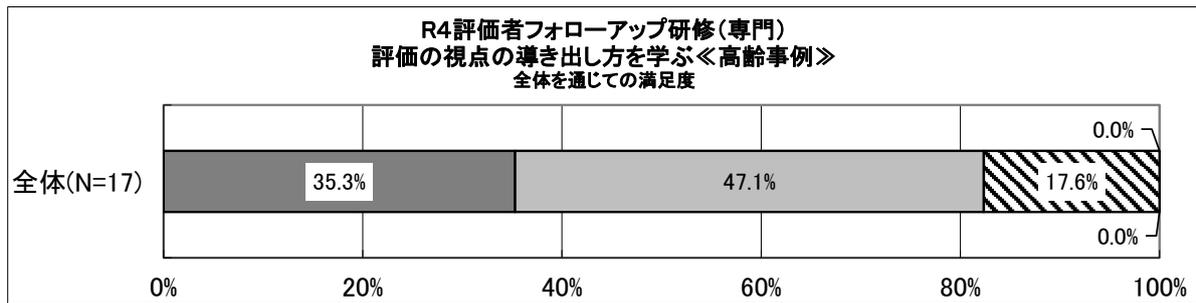


評価の視点の導き出し方を学ぶ《保育事例》

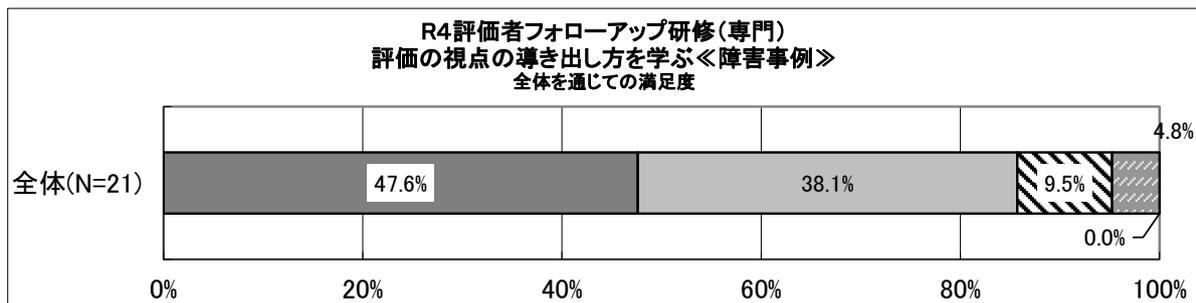




評価の視点の導き出し方を学ぶ《高齢事例》



評価の視点の導き出し方を学ぶ《障害事例》



福祉サービスの共通評価項目の理解を深める～高齢分野～

